

家族介護のための
レスパイトケア促進アプリ

Heafuling

(ハーフリング)



■ レスパイトケアとは

Respite = 休息・小休憩

介護者のための休息支援

主に、訪問介護 ショートステイ

デイサービスがある

■ 家族介護における 問題点

家族内での介護の負担

精神的な不安 疲労

介護がきっかけで

家族関係にひずみが生じる

■ レスパイトケアを促進することで
家族介護の問題点を解決する

Heafuling

利用方法・シーン

※2020年ではなく、ITがより普及した未来での利用を想定





■ 手に埋め込んだICチップ
を介護機器などにかざし
介護時間を記録

■ 体温・血圧・脈拍なども
電波センサー(IoT)で
自動で記録

介護時間と、仕事・その他の予定以外の時間が
週に〇〇時間を超えた場合



ケアマネージャーからチャットにて相談
レスパイトケアの活用を促す

ペルソナ

被介護者：義母(72)
認知症中期

女性(45) 職：看護婦

小学生と中学生の子供を持つ
義母と家が近いため頼られがち
平日毎日9時から16時まで仕事

女性の夫(45)

単身赴任中のため介護
に関わる機会が少ない

夫の妹(43)

義母の家から車で1時間
程度の所に住む
距離を理由に介護の手伝
いが少なめ

デザインコンセプト

ユーザーの年齢層

およそ30～60歳と幅が広い



中高年女性など機械が苦手なユーザも想定

シンプルで感覚的に利用できるデザイン

配色は落ち着いた色で3色に絞った

Hea  fuling

アプリ名・ロゴ



Heartful Family Nursing

愛情のこもった家族介護



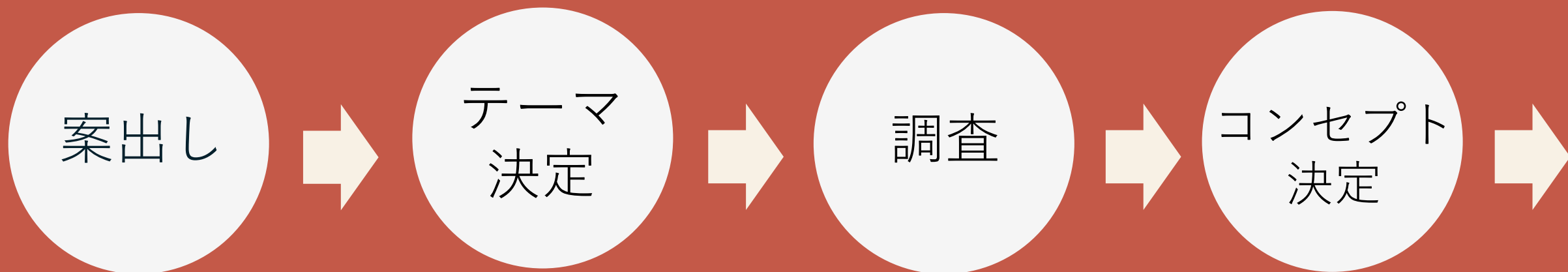
HeaFuling

花びら 1 枚ずつ異なる色にして
家族一人一人を表現

5 色の色の意味

「レスパイトケア＝休憩」から
休息・いたわり・おもいやりの
花言葉を持つポピーの 5 色

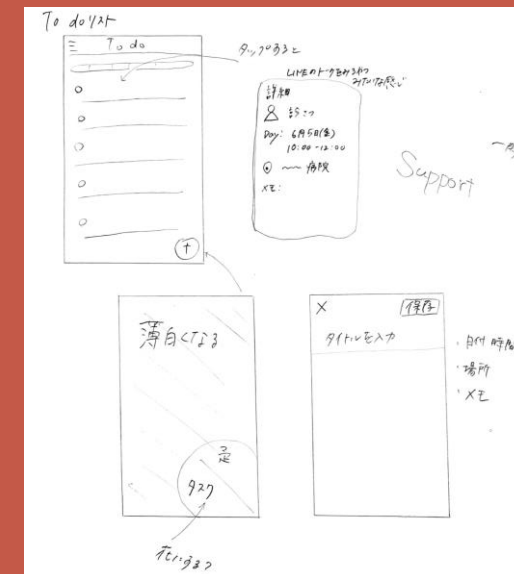
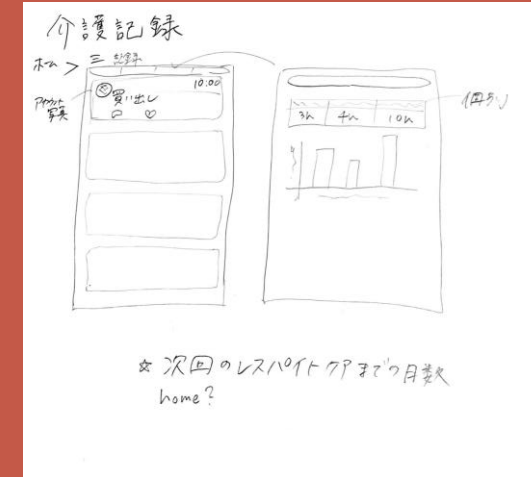
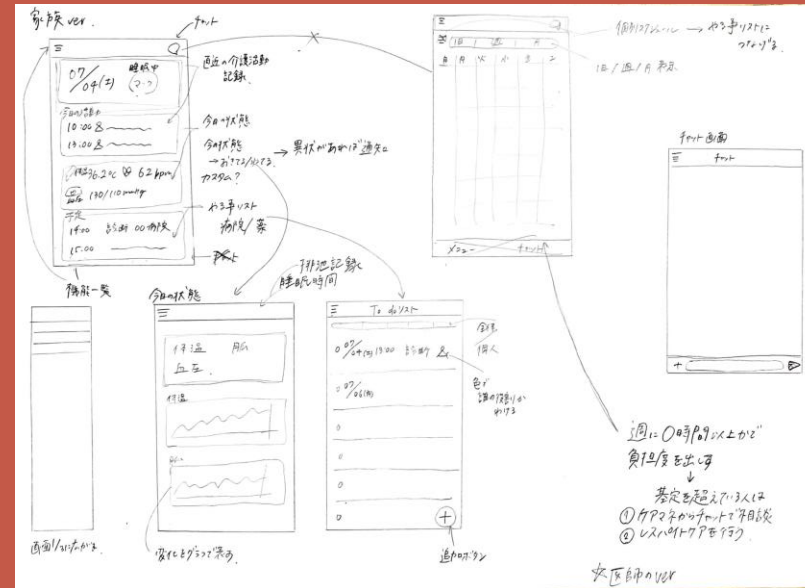
制作過程



母の介護についての実体験を聞いたことで、介護に関心が湧いた。また、母のように介護で苦しむ人を減らす何かを作りたいと思った。

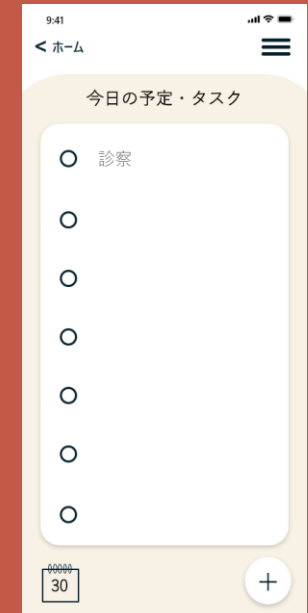
既存の介護アプリ、IoTと介護に関する取り組みや、商品を調べた。その次に、コンセプト(ユーザー、デザイン、アプリの仕組み)を決定。

手書き スケッチ



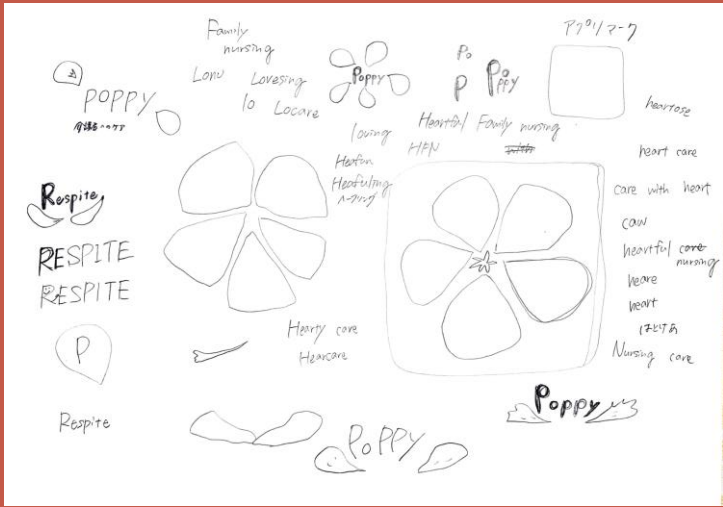
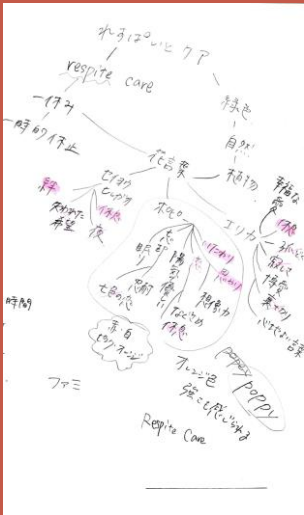
調査の段階で調べた、既存の介護アプリや、Appleのヘルスケアアプリ、ルナルナのUXデザインを参考にした。

XD プロトタイプ 制作



スマホアプリのデザインは初めてで、なかなか綺麗なデザインにまとまらなかった。なので、PinterestなどでUXデザインの例を調べながら、配色や画面デザインを変更していった。アイコンなどもXD上で自分で作成。

アプリ名
ロゴ
デザイン



当初、休息・いたわりの花言葉を持つポピーをそのままアプリ名にしようと考えていたが、介護を意味する言葉を入れたものに変更した。
参考として、既存のロゴの由来などを調べた。